

仮想発電所※技術を活用した防災環境配慮型エネルギーマネジメントの構築

実証期間：2019～2020年度

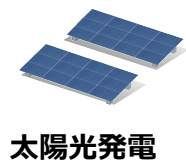
郡山市と東北電力のさらなる連携により
地域の防災力強化および環境負荷低減をめざします。



既設資産である災害対応型太陽光発電システムの有効活用

環境・電力の安定供給に配慮した最適なVPP※制御を実現

災害対応型太陽光発電システム



太陽光発電

再生可能
エネルギー



リチウムイオン
蓄電池

災害対応機能を維持しつつ、
太陽光発電の余剰電力の有効活用、
電力使用量のピークシフト、
蓄電池の長寿命化を目指します

郡山市



市内公共施設
(郡山市立中央公民館)

仮想発電所※



これまでの電気事業で培った知見を活かし
遠方からの蓄電池群制御による最適運用と
調整力としての可能性を検証



蓄電池
監視制御サーバ



東北電力

※仮想発電所（バーチャルパワープラント：VPP）

地域に散在する様々なエネルギー設備をIoTで統合的に制御することで、あたかも1つの発電所のように機能させる仕組み